

平成29年度 徳島県田園環境検討委員会
環境配慮実績 報告書

徳島県 農山漁村振興課

平成30年3月

事業名	ため池等整備事業	地区名	相名池	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局〈阿南〉	課名	農村保全	採択年度	H25

環境配慮の内容：④軽減/消失

- ・ため池改修工事において、水抜きする際に、徐々に水を排出し、在来の水生動物が避難できるように配慮した。
- ・工事により影響のある水田の表土（ミズマツバの埋土種子を含む）を影響の無いところに仮置きし、工事後に戻すことにより地域植生への配慮を行った。
- ・堤体内側の張りブロックについて、多孔質のコンクリート製品を堤体の一部に使用した。

④軽減/消失

水抜きする際に、斜樋を上から順に空けていくなど、徐々に水位を下げるとともに、ため池内部に溜水域を確保し、モノアラガイが避難できるように配慮した。

（1）ため池内溜水域状況



（2）モノアラガイ生息状況



④軽減/消失

工事により影響のある水田の表土（ミズマツバの埋土種子を含む）を影響の無いところに仮置きし、工事後に戻すことにより地域植生への配慮を行った。



④軽減/消失

ブロックマットを施工することにより水生生物の待避場所を確保した。



事業名	ため池等整備事業	地区名	源太池	市町村	阿波市
事業所名	東部農林水産局〈吉野川〉	課名	農村整備	採択年度	H26

環境配慮の内容：②最小化 張りブロックにブロックマットを採用
 ④軽減/消失 コカモメヅルを現地から一時回避
 水田の表土を工事影響外に仮置き
 干上げ時に在来魚類を近傍の池に放流

②最小化

堤体内側の張りブロックにブロックマットを採用し、多孔質のコンクリート製品と同程度の環境を堤体全面に確保。

(1) ブロックマット敷設全景

(2) ブロックマット敷設近景

④軽減/消失

工事用進入路の影響範囲に生息するコカモメヅルを移植し、専門家による管理の下モニタリングを行った。

(1) 一時消失 (H29.1)

(2) 夏期に再生 (H29.6)



